

「水道」の未来を：社会課題に挑む全社横断の出前授業プロジェクト

メタウォーター株式会社

1. 抱えていた課題

日本では**安全な水が利用できるのが当たり前**となり、水道インフラへの社会的関心が薄れています。高度な水道技術の素晴らしさも一般には十分に伝わっておらず、自社の事業も日常生活から遠い存在となっています。この「意識しない」現状は、水道業界全体の深刻な人材不足に直結し、未来の社会インフラの担い手となる若者の減少を招いています。事業継続の観点からも、この隠れた価値を**次世代の子どもたちに伝え、関心を育むことが重要な課題**と捉え活動を続けています。

2. 広報活動概要

主に**小学校低学年を対象**としつつ、高校生や社会人まで幅広い世代へ向けて「出前授業」を実施しています。

1. 講義パート

スライドや動画、クイズを使って、地球の水循環や浄水場の仕組みを解説します。「水道水の飲める国は世界にいくつ？」といった問いかけで、日本の水道のすごさを伝えながら、普段意識しない「水」について考えるきっかけを創出します。

2. 体験実験パート

浄水場で実際に使われている「砂」、「砂利」、「活性炭」を用いてペットボトルろ過装置を組み立て、泥水が綺麗になる過程を体感してもらいます。

3. まとめ

授業を振り返り、普段の生活で**「自分たちができること」**を話し合うことで、**気づきや持続的な意識や行動変容**へと促しています。



出前事業・砂ろ過実験の様子

3. 広報活動の狙い

水環境事業継続を左右する**最重要課題(社会的関心の低下や人材不足)**を解決するため、専門部署を立ち上げ、現場・技術・営業・事務部門の垣根を越えた**全社員関与の横断的プロジェクト**として推進しています。

社外(「水道」への関心向上)

自らの手で水が綺麗になるプロセスを体験する原体験を通じて、当たり前だった水インフラへの理解を深め、これまで意識しなかった「水」を“自分ゴト”として捉えてもらう効果を狙っています。



社内(企業文化の醸成)

出前授業に参加する社員が子どもたちと直接触れ合い、日本の水道技術の素晴らしさを自ら伝えることで、自身の仕事に対する誇りの再認識に繋がります。全社で課題を共有し、日々の業務に意欲的に取り組む企業風土を醸成しています。

教員向け出前授業の様子

4. PRポイント

【発信力】

令和7年度(2025年4月～2026年3月)において、**計44回**の出前授業を実施し、約1,800名が参加しました。対象は小学校低学年を中心としつつも、中高生から60～70代のシニア層までと非常に幅広い世代に対して水道の現状や魅力を発信しています。また、延べ**200名以上の社員**が直接関わっており、社員一人ひとりが発信源となって全国各地へ「水への関心の輪」を広げている点が高い発信力となります。

【その他】

本活動を最大の特長は、当社の**事業基盤に関わる社会課題の解決**を目的とした、**全社的なプロジェクト**と位置付けている点です。一部の部署に留まらず、全国の社員が直接足を運ぶこの活動は、長期的な視点に立った継続的な体制によって支えられています。社員一人ひとりが自社の事業に誇りを持ち、その魅力を伝えるこの取り組みこそが、参加者にとって「水道」を“自分ゴト”として捉える、本活動の根幹をなしています。

【波及性】

出前授業の効果を最大化し、持続的なものにするため、教育現場のキーパーソンである**教員向けの出前授業**も実施しています。毎年約20名の先生方が参加され、ここで得た知識をもとに、**各学校で「水道」の魅力を伝える新たな担い手となっています**。一度授業を経験された先生が、異動先の学校から再びお声がけくださるケースも増えており、教員ネットワークを介して、**出前授業実施の輪が拡大**し続ける**好循環**が生まれています。

【過去5年間の出前授業実施実績】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施回数	10	19	17	36	44
参加人数	560	333	381	1,172	1,801
教員参加人数	24	20	23	22	28
当社参加人数	50	84	114	243	209